

“将来の理想像” (GP)

卒業時に目指す“理想像”を鮮明に持って、夢を持って具体的に動き出そう！

■ Graduation Policy (育成を目指す資質・能力に関する方針)

本校ではこれから到来する変化の激しい時代においてもWell-beingな生き方を持続可能にする人材育成を目指して次の5つの力を育みます。

01

精神的な自立

自分に向き合って、自分で自分を成長させていける力を育みます。

02

社会的な自立

当事者意識を持ち、より良い社会づくりに取り組む力を育みます。

03

経済的な自立

将来の経済的基盤を確保できる職業人に必要な準備力を育みます。

04

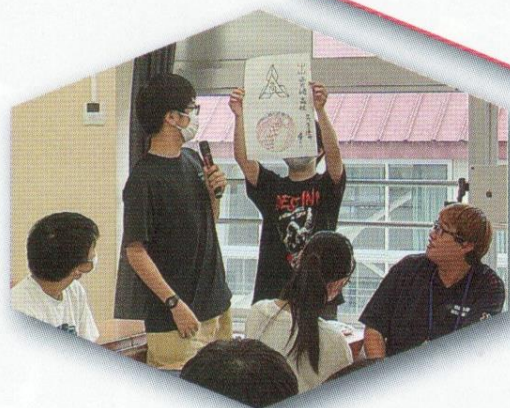
希望への輝き

夢と希望の達成に向けて、粘り強く取り組んでいく力を育みます。

05

ゆたかな情操

他者への思いやりと敬意を基本に、他者とかわる力を育みます。



ランチキャンパス (2年)



グラデュエーション・ポリシーはこの5つです。

この図を見ただけで、その内容を正しく理解することは難しいです。なので、質問形式で例をあげて説明いたします。

そして、そこにあるストーリー性を感じ取ってください。

【質問1】

“将来の理想像(GP)”のイメージを教えてください。



熊谷 晋一郎 氏
(東京大学 准教授)



植松 努 氏
(植松電機 代表取締役)

【回答1】

“将来の理想像”を考えるヒントになる方がスライドのお二人です。

左の方は、東京大学 准教授 熊谷晋一郎先生、
右の方は、北海道にある 植松電機 代表取締役 植松努さん です。

- このお二人をイメージしてもらおうと、本校の卒業時にめざす“理想像”をイメージしやすいと思います。

熊谷 晋一郎 氏
(東京大学 准教授)



豊かな関係
(温かみのある交流)

植松 努 氏
(植松電機 代表取締役)



夢・希望・目標
(アントレプレナーシップ)

【希望への輝き】と【豊かな情操】を円環させよう！

- まずはじめに、生徒一人ひとりが、自分らしい、何かしらの夢・希望・目標を持とう！

(こうなれば良いなーという何かしらの願いはきっとあるはずだよ)

- そして、ともだちの夢・希望・目標を応援しよう！、
自分も人から応援してもらおう！

(この様な豊かな関係、温かみのある交流を「誰一人として見捨てないよ！」という感じで、出雲崎高校の生徒みんなが、作り出し、取り組んで行こう！)

熊谷 晋一郎 氏
(東京大学 准教授)



植松 努 氏
(植松電機 代表取締役)



夢・希望・目標
(アントレプレナーシップ)

豊かな関係
(温かみのある交流)

- この様に、本校の生徒みんな一人ひとりが取り組むと、集団のムードが「よーし、がんばるぞー」と前向き（ポジティブ）になって“私たちは仲間（ピア）”と思えるようになります。

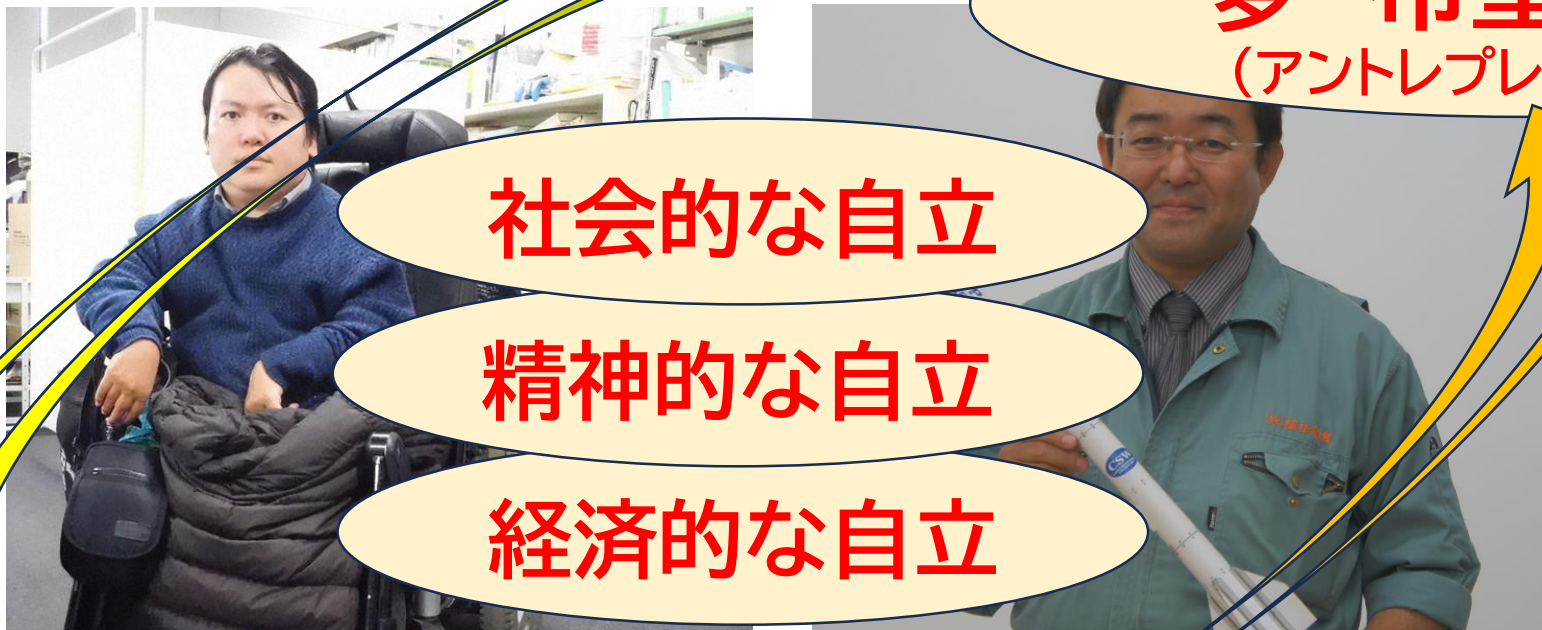
そして

みなさんが、自分の出来る範囲で無理せずに、しかしそれでいて、確実に取り組んだら、どんどんどんどん、温かな関係が広まり、どんどんどんどん、夢・希望・目標への力も、みんなの中で相乗効果を発揮して湧いてくる。

それを“ポジティブ循環”と言い、これを大切にしていきたい！

熊谷 晋一郎 氏
(東京大学 准教授)

植松 努 氏
(植松電機 代表取締役)



夢・希望・目標
(アントレプレナーシップ)

社会的な自立

精神的な自立

経済的な自立

豊かな関係
(温かみのある交流)

【精神的な自立】、【経済的な自立】、【社会的な自立】へ！

- みんなで助け合い、協力しあうポジティブ循環のある集団をつくっていきたい！と思い、動いていくと、生徒一人ひとりの心の中に、精神的自立、経済的自立、社会的自立が育ってきます。
- そして、日々のなかで、それが身についてきます。

(ここで言う「経済的な自立」とは、将来、経済的に自立していくための必要な力であり、特に“職業準備性ピラミッド”の考えを言います。)

- 本校の生徒には、この取組をあまり難しく考えずに、軽い気持ちで、しかし確実に、取り組んで欲しいと考えています。
- 授業の中で、また、日常の学校生活・家庭生活などの中で、自分らしい夢・目標をつくり、それを意識して生活し、仲間を助ける、見捨てないという仲間（ピア）を大切にする気持ちで関わってほしいです。
- その中で、精神的な自立、経済的な自立、社会的な自立に向かって「自分で自分を育てる！」という感覚を楽しみながら、確実に獲得し、社会に羽ばたいていってもらうことをイメージしています。
- これが本校のグラデュエーション・ポリシーの意味になります。

- この本校のグラデュエーション・ポリシーを形にしていくため、本校は単位制と定時制という2つの「箱」に、このポリシーを詰め込んでいきます。

詳しくは学校案内をご覧ください。

- 以上が本校の教育の視点の1点目でした。